

2011年9月期第3四半期決算概要

<ご注意>

本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済や当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了承願います。



2011年8月
株式会社 **エスケーエレクトロニクス**

2011年9月期 第3四半期(累計)の概況 (2010年10月～2011年6月)

FPD市場の動向

<上半期>

* 投資動向

- ・韓国2社(三星電子、LGD)の第7.5世代/第8世代工場中国進出計画を中国中央政府が正式承認。
 - ・台湾AUOの第7.5世代(FVO)の中国進出を台湾政府が承認。
 - ・急増するiPhone・iPad用パネルの安定調達へ米国アップル社が、東芝モバイルディスプレイ及びシャープの2社に、台湾のフォックスコン社が、日立ディスプレイズに新工場建設を提案。
- * 中小型パネル市場が活況。
* 東日本大震災(3月11日)の影響により、一部のFPD部材、装置及びパネルメーカーが被災。

<第3四半期>

* パネルメーカーの稼働状況

- ・大型パネル向けは、中国の労働節前後に液晶テレビ需要が増加したため、一時的に一部のパネルメーカーの稼働率が上がったものの、全体としては、低調に推移。
 - ・中小型パネルについては、上半期に引き続き好調に推移。
- * シャープ株式会社
・堺工場と亀山第二工場を4月初めから操業を一時休止。5月中旬から操業再開。
・亀山工場を中小型液晶用に転換すると発表。液晶テレビ用は堺工場に集約。
- * 東芝とソニーによる中小型液晶パネル事業の統合交渉に日立が合流と報道。
(産業革新機構から出資(約7割)を受け年内設立とのこと。)

2011年9月期 第3四半期(累計)の概況 (2010年10月～2011年6月)

当社グループの概況

<上半期>

- * 第10世代用フォトマスクの開発需要は、第1四半期は好調であったが、第2四半期は、主要液晶パネルメーカーの業績が不調であったことに加え、東日本大震災の影響もあり低調
- * 多階調マスクの開発需要は、第1、第2四半期ともに好調に推移
- * マスク価格下落は大版を中心に継続

<第3四半期>

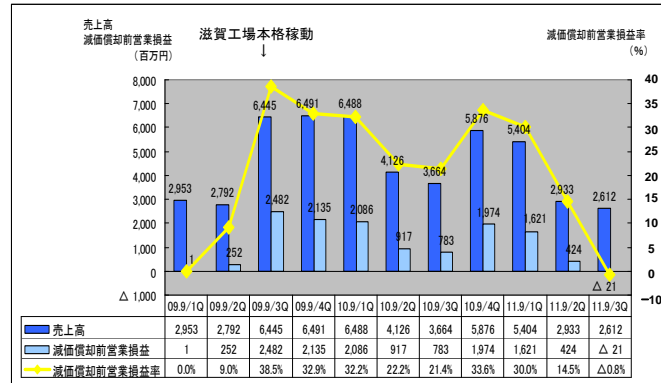
- * 第10世代用フォトマスク開発需要は、世界全体での液晶テレビ販売不振に加え、シャープ(堺工場)一時稼働停止により、受注が減少
- * 中国において、ラインを立ち上げた顧客から受注を獲得するなど拡販に注力
- * 多階調マスク需要は、パネルメーカーの工程改善や技術開発のニーズが高まり好調を持続
- * マスク価格下落は、引続き継続

2011年9月期連結第3四半期決算概要

(単位:百万円)

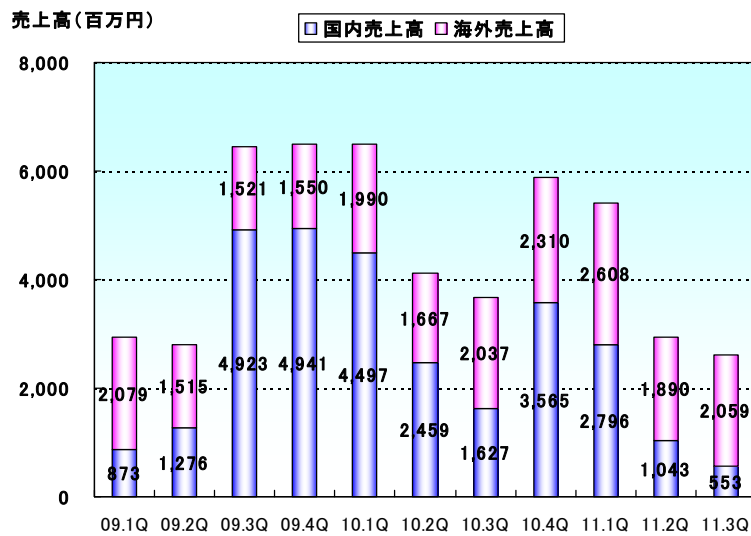
	2010年 9月期	2011年 9月期				第3四半期 累計比
	前第3四半 期累計期間	1Q	2Q	3Q	第3四半期 累計期間	
売上高	14,279	5,404	2,933	2,612	10,950	△3,328
営業損益	△333	778	△399	△863	△484	△151
経常損益	△408	756	△406	△858	△508	△99
当期純損益	△239	609	△249	△835	△474	△234
設備投資	50	14	326	52	393	342
減価償却費	4,119	843	823	841	2,508	△1,611
研究開発費	153	70	35	72	177	24

減価償却前営業利益 (EBITDA)の推移



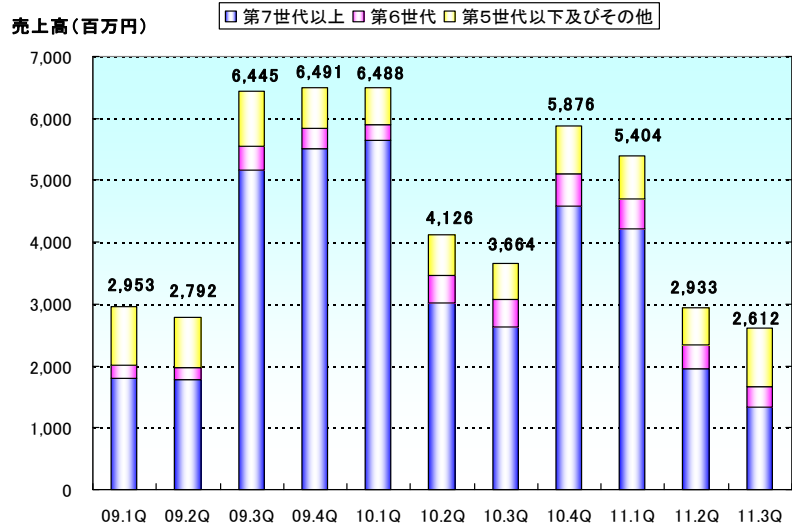
※減価償却前営業利益とは減価償却費を加算してキャッシュベースの利益を示したものです。(営業利益 + 減価償却費)

地域別フォトマスク売上高の推移

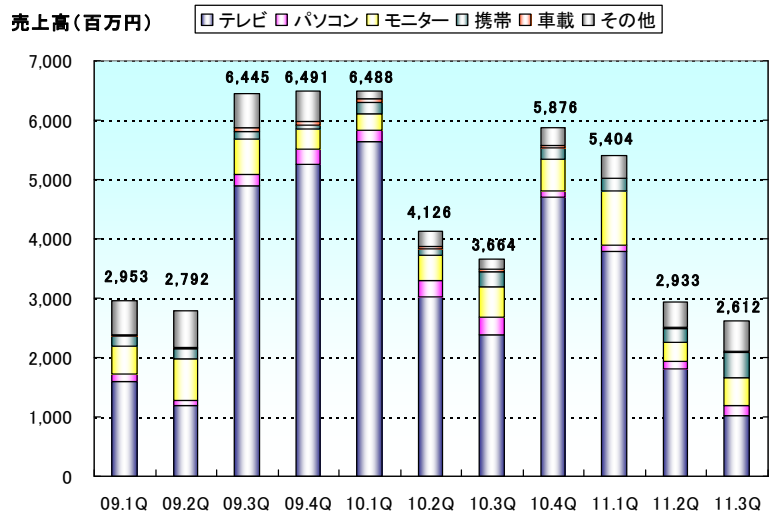


(注)海外向け売上高は間接輸出売上高を含んだ数値となっております。

世代別フォトマスク売上高の推移



アプリケーション別フォトマスク売上高の推移

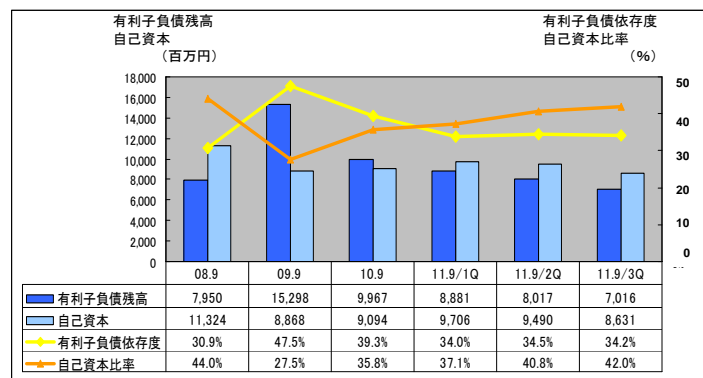


連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

科 目	2010年 6月末	2010年 9月末	2011年 6月末	前期末比
(資産合計)	25,017	25,380	20,540	△4,840
現金及び預金	2,171	2,838	2,699	△138
受取手形及び売掛金	5,656	6,885	3,981	△2,904
たな卸資産	1,538	1,460	1,682	222
その他(流動資産)	863	746	681	△64
有形固定資産	14,317	12,955	11,019	△1,935
無形固定資産	232	210	152	△57
投資その他資産	236	284	322	38
(負債合計)	15,093	14,971	10,524	△4,446
支払手形及び買掛金	3,035	3,965	2,802	△1,163
長期借入金(1年以内返済含む)	11,051	9,965	6,820	△3,144
未払法人税等	12	24	11	△13
その他(負債)	994	1,015	890	△125
(純資産合計)	9,924	10,409	10,015	△393
自己資本(株主資本、評価・換算差額等計)	8,613	9,094	8,631	△463
自己資本比率(%)	34.4	35.8	42.0	6.2
有利子負債残高	11,063	9,967	7,016	△2,950

自己資本及び有利子負債の推移



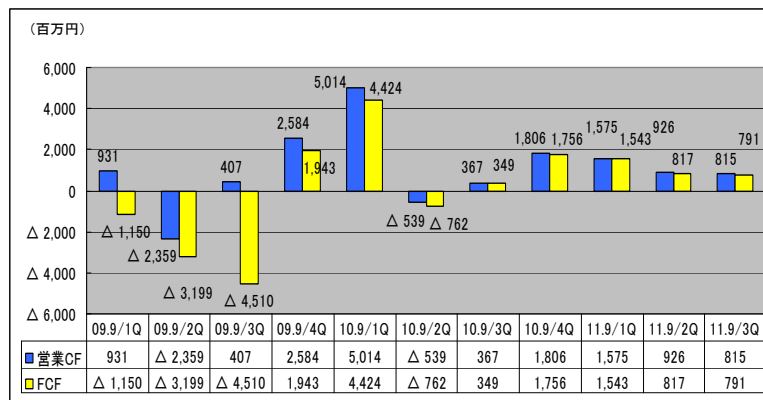
※有利子負債依存度は、総資産に占める有利子負債の割合(%)を示したものです。

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科 目	2010年9月期 第3四半期 (累計)	2011年9月期 第3四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	4,842	3,316
当期純利益	△239	△474
減価償却費	4,119	2,508
その他	962	1,282
投資活動によるキャッシュフロー	△831	△164
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	4,011	3,151
財務活動によるキャッシュフロー	△4,231	△3,332
現金及び現金同等物の増加額	△241	△138
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,171	2,699

フリー・キャッシュフローの推移



2011年9月期 第4四半期以降の見通しについて

FPD市場の動向

- * 市場動向
 - ・TV需要予測が下方修正、2011年は2.1億台。(TV用G8ラインの稼働率が低迷)
 - ・スマートフォン・タブレット需要が引き続き好調。
- * 設備投資動向
 - ・中小型パネル向け設備投資が活発に継続するものの計画より若干遅れ気味。
 - ・中国でのLCD設備投資計画も後ろ倒し傾向。
 - ・既存ラインの高精細化及び酸化物半導体向けライン変更に向け投資意欲。
- * 技術動向
 - ・スマートフォンやiPad等のタブレットの中小型パネルの需要拡大の影響により、更に薄型化、軽量化、消費電力の向上、高精細化に向けての取り組みが継続。

当社グループの概況

- * 第10世代用フォトマスクの需要は、前四半期と比較して開発需要は一定程度増加する見込
- * 第8世代以下用のフォトマスク需要は、パネルメーカーの生産調整もあり前四半期から若干弱含むと想定
- * 顧客にとってもプラスになる多階調マスクなどを拡販することで、差別化を行うと共に、収益力強化を図る。これに合わせて、コスト削減と高い歩留りの維持・継続により収益確保する。

2011年9月期連結決算業績予想

(単位:百万円)

	2010年9月期(実績)		2011年9月期		
	第3四半期 累計期間	通 期	第3四半期 累計期間(実績)	通 期(予想)	前年比(通期)
売 上 高	14,279	20,155	10,950	16,600	△3,555
営 業 利 益	△333	279	△484	600	320
経 常 利 益	△408	187	△508	530	342
当 期 純 利 益	△239	277	△474	530	252
設 備 投 資	50	107	393	493	385
減 価 償 却 費	4,119	5,481	2,508	3,358	△2,123
研 究 開 発 費	153	241	177	345	104
一 株 当 たり 配 金	1,000円		—	1,000円	—

<TOPICS> パネルメーカー設備投資動向について

液晶と有機EL用パネル工場の建設計画

